2010・夏

特別支援教育支援員セミナー

現在、小・中学校の通常の学級の中で、さまざまな支援を必要とする子どもたちが学んでいます。

このような子どもたちのために、「特別支援教育支援員」（あるいは「補助員」等の名称）が、学習面や友だちとの関わり方などの支援を行う取り組みが進んでいます。

そこで今回、特別支援教育界の第一線でご活躍中のお二人の先生をお招きし、通常の学級で困難を抱える児童生徒に対する支援方法についての専門的な知識と具体的な支援方法を学ぶセミナーを開催します。

イラスト：たむらひろこ

2010年 8月 1日（日）

13:00～17:00　受付12:30～

水戸市・茨城県立歴史館 講堂

水戸市緑町2-1-15　TEL：029-225-4425

＊通常の学級で困難を抱えている児童生徒の支援にあたっている方、もしくは関心のある方、どなたでも参加できます。

資料代　2000円　＊主催・共催団体会員は1000円

▶13:10～　開会　挨拶、日程説明

▶13：30～14：50

第1講座　障がいと支援の基礎知識　新井英靖 先生（茨城大学）

障がい児教育研究の第一人者で、知的障がい児の教育方法や通常学校の学習困難児への支援の研究をされています。イギリスに何度も出向き、インクルーシブ教育のあり方を探るなど、幅広い研究をされています。今回は、通常学級に在籍する多様な障がいについて、その特徴とそれに応えた支援の仕方をお話いただきます。著書は、『「気になる子ども」の配慮と支援』、『「気になる子ども」の教育相談ケース・ファイル 』など多数。

▶15：10～15：20　特別報告　親の願い「私の願う特別支援教育」

▶15：20～16：40

第2講座　子どもへの支援で大事にすべきこと

石田隆雄 先生（元勝田養護学校校長、茨城キリスト教大学）

長く特別支援学校での教職の経験を持ち、特に情緒障がい児への「子どもに寄り添う支援」は定評です。また小学校では、学校運営の立場から特別支援教育体制を作り上げた方です。通常の学校の困難も知り、通常の学校の中での支援のあり方を学ぶには最適な方です。今回は、支援の進め方と方法の実際にかかわるお話をしていただきます。

主催　茨障研　全国障害者問題研究会 茨城支部

共催　茨城LD等発達障害親の会 星の子／茨城県ダウン症協会／茨城県自閉症協会

後援　茨城県教育委員会（申請中）

▼連絡先　あすなろ園内全障研茨城支部　FAX 0296-35-1360　TEL 0296-35-1330

Eメール ibasyoken@yahoo.co.jp　茨障研ホームページ 茨障研 で検索